

eE-Painterの効果設定の保存・開く方法

eE-Painterで設定した効果設定を保存する方法です。



eE-Painterで効果設定を調整した時、設定を保存しておくことができます。

効果設定ファイルはCAD図面ファイル内、もしくは指定した場所に保存が出来ます。



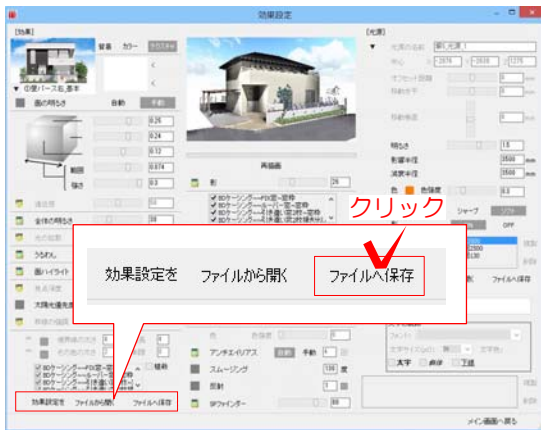
1 効果設定を保存



1-1 eE-Painterでカメラの角度や効果設定を調整します。

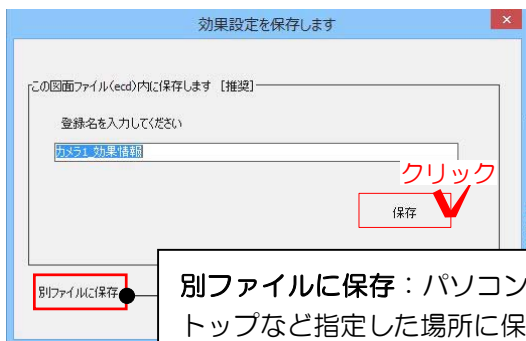
 詳しい手順は[eE-Painter]を検索

1-2 右上の設定の絵をWクリックして効果設定を開きます。



1-3 画面左下の「ファイルへ保存」をクリックします。

効果設定保存の画面が表示されます。



1-4 名前を入力し「保存」をクリックします。

この図面ファイル内に保存されます。

別ファイルに保存：パソコンのデスクトップなど指定した場所に保存することができます。

2 効果設定を開く

保存した効果設定は、修正後などに利用できます。再度、同じ様に効果設定を調整する必要がなくなります。

2-1 eE-Painterを開きます。



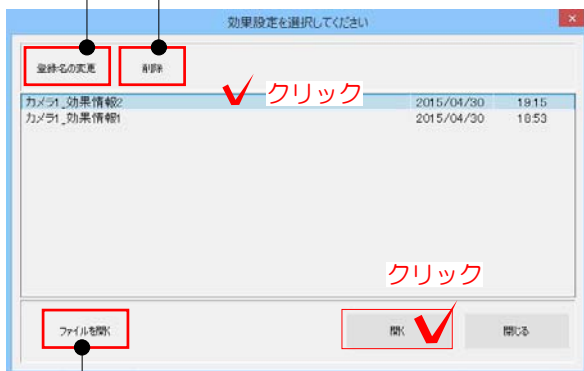
2-2 右上の設定の絵をWクリックして効果設定を開きます。



2-3 画面左下の「ファイルから保存」をクリックします。

登録名の変更：保存したレタッチ情報の名前を変更することができます。

削除：保存したレタッチ情報を削除することができます。



ファイルを開く：パソコンのデスクトップなど指定した場所に保存した効果設定を開くことができます。

効果設定選択の画面が表示されます。

2-4 保存した効果設定を選択して「開く」をクリックします。

2-5 メイン画面に戻り「再描画」ボタンをクリックします。

再描画

保存した効果設定が画面上に適用されます。